

海洋建設株式会社 (開発製造)

全国漁業協同組合連合会購買事業部資材課 (総発売元)

実証済技術

人工中層海底による閉鎖性海域における生物生息環境の改善技術

実証番号 閉鎖性海域：090-0801

実証技術を改良した製品の導入先：導入時期

国土交通省北陸地方整備局 敦賀港湾事務所の水質改善礁：平成 22 年 2 月

国土交通省四国地方整備局 高知港湾・空港整備事務所の宿毛港湾型：平成 22 年～ 27 年



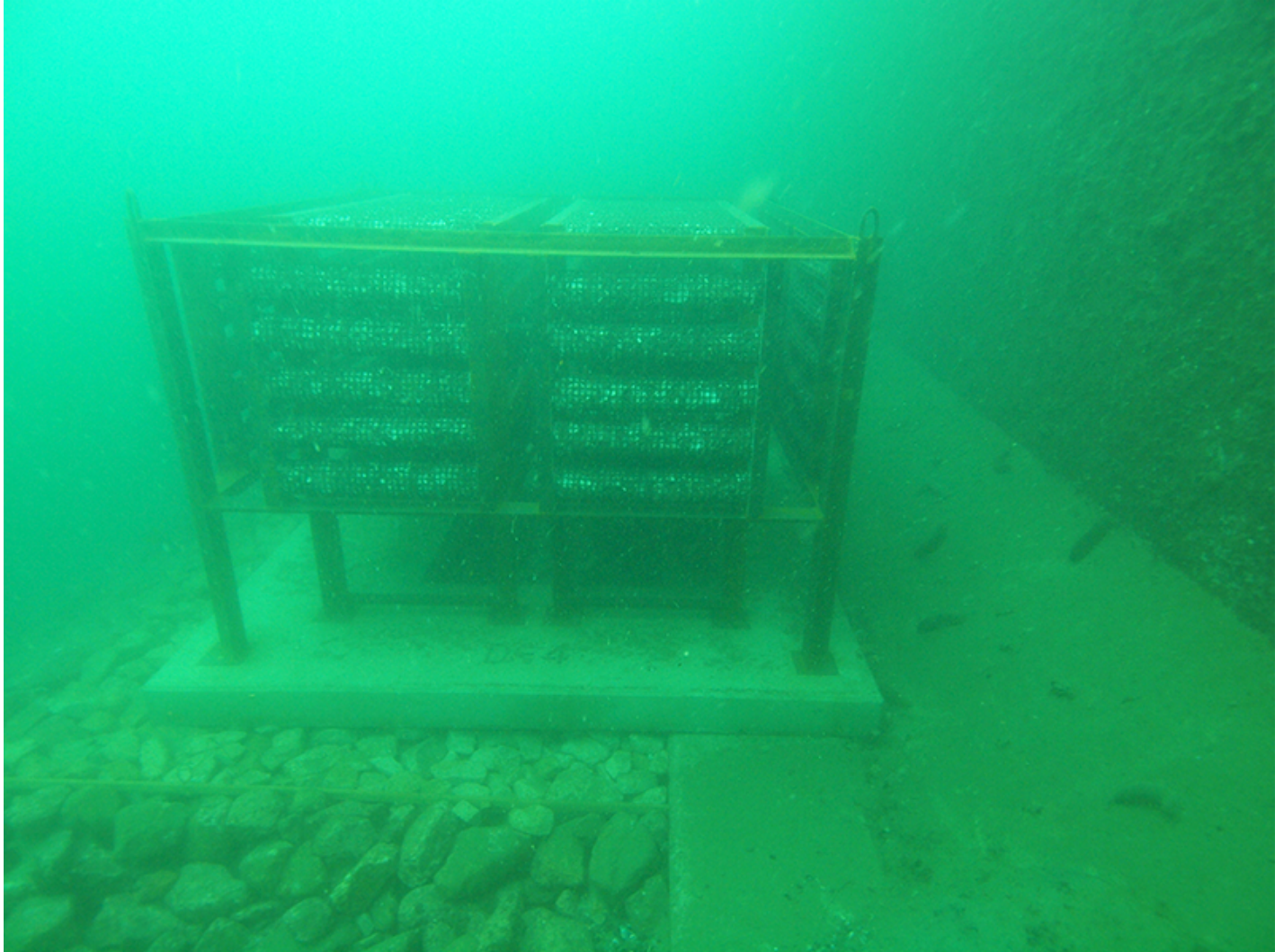
写真：敦賀港人工中層海底 設置状況

ETV に関する事業者様のエピソード

ETV事業の結果も含めて営業に行って受注につながっています。今までは地方自治体の水産事業主体の受注でしたが、国交省や地方自治体の港湾・漁港の事業主体、外郭団体に営業できるようになりました。平成 20 年度以前は港湾事業に採用がほとんどありませんでしたが、受注しました。実証自体が関連技術の紹介にもつながっており、本技術等で応募した第 42 回環境賞では優良賞を受賞し 50 万円の賞金を頂きました。また今年度は技術普及のためにセブンイレブン記念財団の活動助成を受けています。

導入事例・技術概要

人工中層海底（敦賀港）



アイナメ



メバル

導入事例・技術概要（続き）

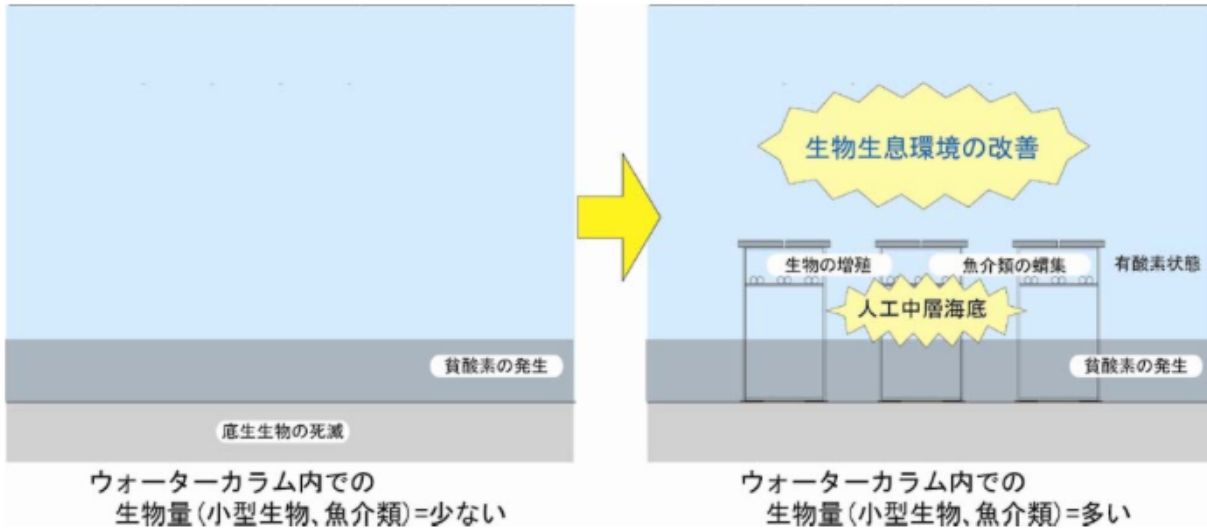


図1 人工中層海底の様式図

海域の底層が貧酸素状態にあっても中層ではある程度、酸素濃度が高いことが知られている。その中層に貝殻を使用した生物培養基質を取り付けた人工中層海底を設置することによって、中層域に生物を生息させることが出来るようになる。

“実証対象技術の原理の様式図（実証試験報告書の概要より引用）”

導入実績

- 水産庁の水産環境整備事業で多くの実績がある、
- 受賞歴:平成20年度民間部門農林水産研究開発功績者表彰(農林水産大臣賞 受賞)
- 平成19年度資源循環技術・システム表彰(経済産業省産業技術環境局長賞受賞)
- 平成18年度バイオマス利活用優良表彰(バイオマス活用協議会会長賞)
- 平成16年度中国地方発明表彰

“技術実証報告書の参考情報より”

広報への活用例

活用方法として、他のロゴマーク（エコマークや地方自体のリサイクル製品のマークなど）や表彰などの技術評価を資料化してHPに掲載しています。このほか、当該製品のカタログやプレゼン資料（パワーポイント）にも、ロゴマークを使用しています。
<http://www.kaiyoh.co.jp>



企業情報・連絡先

海洋建設株式会社

〒711-0921 岡山県倉敷市児島駅前 1-75
TEL : 086-473-5508 WebSite : <http://www.kaiyoh.co.jp>

当資料に関して ETV に関する事業者様のエピソード及び技術概要については、事業者様の責任においてご紹介いただく内容であり、環境省及び実証機関は、内容に関して一切の責任を負いません。

環境省 環境技術実証事業

事業の詳細、その他の実証結果はウェブサイトに掲載しております。 <http://www.env.go.jp/policy/etv/>